

# 美しい山形・最上川フォーラム

## 第 43 回 清流・環境対策部会及び最上川文化・地域経済活性化部会

日 時 平成 31 年 3 月 18 日（木） 13：00～

場 所 山形県村山総合支庁本庁舎 402 会議室

### 意見概要

#### 次第 3 報告・協議

平成 30 年度部会事業実施状況報告

#### 清流・環境対策部会

- 1 第 17 回身近な川や水辺の健康診断 了
- 2 第 16 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了
- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

#### 最上川文化・地域経済活性化部会

- 1 最上川夢の桜街道づくり 了
- 2 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 3 夢の桜街道キャンペーン 了
- 4 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 5 ホームページの更新 了
- 6 地域おこしの紙芝居作成 了
- 7 最上川流域活動団体のデータベース化

#### 地域部会

- ◇置賜地域部会 了
- ◇村山地域部会 了
- ◇最上地域部会 了
- ◇庄内地域部会 了

#### 【意見】

・「内川学 10」に参加させていただいた。最上川フォーラムの考え方とかなり相通じるものがあった。水生生物についてはかなり詳細な調査をしていたし、これまで知らなかった草花の植生や鳥などの調査報告を聞いた。公益文科大学の高谷先生を中心として公益のふるさとづくり鶴岡の方々も一緒になり、鶴岡市の旧市街地を盛り立てようという地域おこしを兼ねていて参考になった。それに合わせて、内川の水質がとてよもよな良くなった報告も目を引いた。その理由として、一つは下水道の整備。二つ目は昭和 30 年代に比べると農薬使用が非常に減ったこと。ほかに平成 24 年の赤川の河川改修。国土交通省、農林水産省、山形県、鶴岡市、土地改良区の 5 者で協議して、新たな分水路をつくったり、青龍寺川から水を取り入れたりして、最大毎秒 4.5t の水を取り入れた。この効果は抜群であり、黒トンボやイバラトミヨも生息するようになり植生がとてよもよな良くなった。下水道の整備と農薬使用の減少はどこでもある話であるが、水利権の利害を持つ 5 者が調整して水を入れたことは魅力のあることで、これを行ってくれたことにとてよもよな感謝している。

こういう素晴らしい事例を国土交通省で大きく紹介して発信して欲しいし、他の良い事例があったらもっと紹介もしていただきたいとお願いしたい。

⇒酒田河川国道事務所で行ったことで評価をいただきありがたい。水利権の関係があり、調整するのは難しいことだったと思うが、みんなが集まって調整して実施できたことが良かったことだと思う。すべての川がきれいになるには調整がまだまだ必要かと考えるが、これからもうまくいったら発表し紹介をしていきたいので、長い目で見ていただければありがたい。

・この内川の話はイニシアティブを一番とったのは鶴岡市であったのか。

⇒おそらく、地元の鶴岡市から要望があつて、国土交通省が見直し調整に動いたのかと思う。

・このような市町村が要望し協力を求め、国が取り上げてくれて良い方向に動いていったことが、非常に良い事例であるので、一つのモデルになるかと思う。

### 総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了
- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

### その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 平成30年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託
- 2 山形市コミュニティファンド補助事業
- 3 水環境保全助成事業
- 4 「東北夢の桜街道」寄付金
- 5 ペーパーレス保険証券・Web約款寄付活動寄付金
- 6 スポGOMI大会協賛
- 7 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 8 全国川ごみネットワークへの参加
- 9 東北・夢の桜街道推進協議会としての「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の推進
- 10 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

### (2) 平成31年度事業計画案

#### 清流・環境対策部会

- 1 身近な川や水辺の健康診断 了
- 2 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了
- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

#### 【意見】

・河川愛護活動団体として活動をしている。この河川愛護活動団体は県内1,200ほど登録していて主管が総合支庁の建設総務課である。3月に河川愛護団体とアシストする企業の合同の報告会がある。クリーンアップ・キャンペーンや水辺の健康診断への参加を促すために、河川愛護活動団体に切り込んで案内するのはどうか。

⇒県土整備部の協力があるので、パイプはある。新年度になったら県土整備部の河川課の方からご指導いただき、対応したい。

#### 最上川文化・地域経済活性化部会

- 1 最上川夢の桜街道づくり 了
- 2 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 3 夢の桜街道キャンペーン 了

- 4 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 5 ホームページの更新 了
- 6 地域おこしの紙芝居作成 了

【質問】

・山形県環境企画課で環境教育の分野を担当している。これまで作成してきている紙芝居がどういったものなのか。例えば県で県民の皆さんにホームページで紹介していけるものなのか。どういった方を対象にしているのか。いつ頃できたか。どのように活用していくのかなどをお聞きしたい。

⇒24年度置賜地域から始まってこれまで5作品できている。地域に残る有名な民話などではなく、最上川にまつわる地域のエピソードを地域の方に集まってもらいオリジナルの脚本をつくって進めている。作画や脚本、読み手も地域の方にお願いをしている。出来上がった作品は、地域の公民館やコミュニティーセンターに置かせていただき、小学校や老人会のイベントやお祭りなどの読み聞かせで現在は使ってもらっている。その他、一昨年出来上がった白鷹町の紙芝居は、地域の桜守の方の話を地元の中学生がワークショップ形式で作品にしている。これも地域で使ってもらっている。これから置賜地域部会で次年度に向けて、海岸漂着物問題に着目した作品を作成予定。マイクロプラスチックだけに特化しないでゴミ削減のもとを考えてみるようなもので、生活クラブ生協の方などと一緒に進めていく計画である。対象は大人から小さい子供までで、継承したい文化や地域で活動している方々のことを取り上げて作品にしている。これまで県の教育委員会にご協力いただき、視聴覚教材コンクールなどにも出している。ご活用いただけるようであれば、ホームページにも動画も含めて掲載していて、貸し出しは無料なので、ご覧いただき広く紹介していただければありがたい。

## 7 最上川に関する文化の継承、環境問題啓発イベントの開催検討 了

【補足】

・置賜地域の会員の方から白鷹町の鮎貝地区で小学校2,3年生と一緒に毎年鮭の稚魚10,000匹放流してきているが、帰ってくるのがほとんどいない。ブラックバスのせいではないのかと考えていて、ブラックバスを退治・捕獲する方法はないものかという話をいただいた。困っているものを回収するスポGOMI大会のように、ブラックバス釣り大会をやってみてはどうかと検討してみた。ブラックバスについては、漁業組合などでは在来種と同じように考えていて、必ずしも迷惑な魚だという捉え方をしていないこともあるようであるが、ブラックバスを捕獲してはどうかという提案である。ブラックバスが実際に稚魚を食べている姿を見たことがないので、本当にブラックバスのせいであるかもわからないことであるが、稚魚をできるだけ返したいという思いがあり要因の一つとしてブラックバスが考えられるので、捕獲するような運動をフォーラムでやってもらえないだろうかという意見であった。

ブラックバスがどういうものなのか詳しい方がいらっしゃればフォーラムに教えていただきたい。

【意見】

・白鷹町で活動をしている。ブラックバスは有害な魚ではないという捉え方をしていることもあると聞いて驚いたが、自分たちの団体活動の中で困った動物の代表のイノシシと困った魚の代表のブラックバスの二つをテーマに楽しく盛り上げる企画を検討している。白鷹町の観光として有名なアユについてもブラックバスが深刻な問題になっていると考えている。イノシシとブラックバスをテーマとして漁協や猟友会、これらに精通している方々に協力を呼び掛けて勉強会を行う傍々、ブラックバスを釣り、それを肴に集う会を行いたいと模索している。白鷹町だけでなく、最上川沿いで活動している仲間呼びかけ、同日同時刻に一大会行えれば意義あることに繋がるのではないかと計画である。場合によってはフォーラムにも協力いただき、各地域に呼びかけるなどお手伝いをいただきたい。

⇒ブラックバスは有害かどうかという点については、先に話をさせていただいた置賜の会員の方

が漁業組合の組合長と話をしたところ、有害種でないということであったそうである。また、仲間でブラックバスを釣る運動を計画しているという話しをしたら、漁業権を持っている組合としては年間の鑑札か、1日ならその入漁料が必要だということだったそうである。入漁料を払っての釣り大会の実現は難しい。

- ・国や県などでは水の管理はするが、川にいる魚の管理についてはどのようになっているのか。  
⇒漁業面で権利を持っているのは内水面漁協になっているので、そちらでどう考えているかということになるかと思う。ブラックバスは特定外来種に指定されているが、直接国が駆除することではない。漁協で川の資源として見ているとすれば、問題は複雑になってくると思われる。フォーラムからも声を上げてもらって、全県的な話になり機運が向けば、漁協としての考えが変わっていくのかもしれない。地道に声を上げ続けていかなければならない時期なのではないだろうか。
- ・今は、漁協の方から理解をいただかないとブラックバスを勝手に釣ることはできない。いろいろな関係機関と話し合いをしなければならぬので、すぐに釣り大会の開催を計画するのは難しい。またイノシシについては、フォーラムでは対応は難しい。実施する際は、危険な動物なので十分気を付けて欲しい。
- ・ブラックバスはスポーツフィッシングになっているので、リリースしてしまうことが多い。完全になくすことは無理であろうかと思うが、生態系をある程度維持する意味でも密度を減らすことについては、漁協の方とも協力をしていかなければならないのではないだろうか。  
⇒外来種の保護のためどうしたらよいかを考えて、漁協の方たちからも理解をしてもらって、ブラックバスを減らす運動をしていかななくてはならないと思っている。

## 地域部会

◇置賜地域部会 了

### 【補足】

- ・置賜地区の川においてもハヤの減少もあり、川鵜の問題とあわせて、生態の現状調査などもしていきたいと思っている。

◇村山地域部会 了

◇最上地域部会 了

### 【補足】

- ・湧水調査会は4年継続して、一通り最上地域を回り終えたので、31年度は県で行っている「里の名水山形100選」に決定したところや100選に推薦できそうな箇所を巡る調査会にしていきたい。

◇庄内地域部会 了

### 【補足】

- ・「内川学」は30年度が10回目で、節目だったのでやめる予定であったが、若い人たちから内川学フォーラムを立ち上げて継続していきたいという話が出たので、「内川学フォーラム」開催を検討していくことを計画に追加したい。

## 総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了
- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

## その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 2 東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとしての「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヵ所巡り」の推進
- 3 全国川ごみネットワークとの連携
- 4 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

## 次第4 その他